

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-2 自然とのふれあいの推進
---------	------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	自然環境課長 齋藤晃大	電話番号	0852-22-5346
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	隠岐ユネスコ世界ジオパーク活用推進事業
目的	(1) 対象 隠岐ユネスコ世界ジオパークを訪れる人、隠岐ユネスコ世界ジオパークに関係する人 (2) 意図 平成25年9月に世界認定となった隠岐ジオパークの振興や活用推進を支援するとともに、平成29年度の世界再認定に向けた取組みを推進する
事業概要	①隠岐ユネスコ世界ジオパークを運営する推進協議会の運営経費の一部を負担 ②隠岐ユネスコ世界ジオパーク内のジオサイトの施設整備 ③県内外への情報発信 ④鳥取県等と連携した首都圏でのPRイベントや、ユネスコ世界ジオパークに認定されている国内の他地域自治体と連携した認知度向上等のための事業を実施

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 隠岐ジオパークの日本ジオパークの再認定及びその継続	目標値		1.0	1.0	1.0	1.0	件
		取組目標値						
	式・定義 隠岐ジオパークの日本ジオパークの再認定及びその継続(4年ごと)	実績値	1.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名 隠岐ジオパークのユネスコ世界ジオパークの再認定及びその継続	目標値		1.0	1.0	1.0	1.0	件
		取組目標値						
	式・定義 隠岐ジオパークのユネスコ世界ジオパークの再認定及びその継続(4年ごと)	実績値	1.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	188,426	165,292
うち一般財源(千円)	155,256	146,292

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

○交流人口数(推定入島客数)の増加：統計データのある平成22年度以降、初の13万人超え
 ○隠岐を訪れる外国人観光客の増加：H26年度:493人→H27年度:780人(いずれも隠岐汽船利用者のみ)
 ○ジオサイトの施設整備が計画的に進展
 ○学校や公民館でのジオパーク学習会の開催、小学校における親子活動機会の増加、隠岐高校での学校科目としての「隠岐ジオパーク探究」の実施、隠岐水産高校での海岸清掃活動とジオパーク講座の開催

6. 成果があったこと(改善されたこと)

○交流人口数(推定入島客数)の増加
 ○隠岐を訪れる外国人観光客の増加
 ○隠岐地域におけるジオパークを活用した各種活動の機運上昇
 ○地元の資源を活用・工夫して活性化を図る新しい動きの増加

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」
 ○隠岐への来島者が大幅には増加していない

②困っている状況が発生している「原因」
 ○隠岐ユネスコ世界ジオパークの認知度がまだ低い
 ○地元の住民・事業者・行政等が来島者に魅力を伝える仕組みや取組みが十分でない

③原因を解消するための「課題」
 ①国内外の認知度を更に向上させる必要がある
 ②外国語対応を更に向上させる必要がある
 ③来島者の満足度を更に向上させる必要がある
 ④地域への啓発を更に行う必要がある

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

以下の分野を柱とする具体的な事業実施を行う
 ①情報発信の強化…HPでの動画配信、島外の観光説明会やイベントでのPR、FB等による海外向け情報発信、島外でのフェア・講演会・検定の実施やSNSの運用
 ②多言語対応の強化…HP、HP上のバナー、リーフレット、ガイドブック等を5か国語対応、多言語対応の音声ガイドやQRコードを活用したわかりやすい説明の提供
 ③来島者の満足度向上…認定ガイドの養成、隠岐ジオパークのブランド化による高品質化の維持や多様な商品化
 ④地域への啓発向上…学校でのジオパーク給食、イベントの実施、島民を対象とするジオパーク学習会・講座・検定・SNS等の実施
 ⑤施設・設備の整備…観光客にとってのビジターセンター、ガイドハウス、人材育成機能を持つ拠点施設を各島に整備、統括的な機能を持つ中核機能を整備

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

--